



アジア・国際経営戦略学会 (AIBS)

「AIBS アジアエグゼクティブセミナー」

タイ・ASEAN、日本企業の事業戦略再構築

— バンコクセミナー —

開催日: 2013年8月25日(日)
 時間: 16:00~21:00
 会場: SOFITEL BANGKOK SUKHUMVIT
 189 Sukhumvit Road Soi 13-15 Klongtoey Nua Wattana, 10110
 参加費: 15,000円

【プログラム】

16:00~16:10 ご挨拶

池島 政広氏 (AIBS 学会会長、アジアコンテンツビジネス研究会
 会長、経済産業省産業構造審議会新成長政策部会経営・知的資産
 小委員会委員長)

16:10~16:50 特別講演

「タイ・GMS (大メコン経済圏) と 2015年 ASEAN 経済共同体への展望」

【講演者】高橋則孝氏 (みずほ銀行 執行役員 バンコク支店長)
 2002年のみずほ統合プロジェクトに持株会社発足から携わり、その後、みずほ
 銀行熊本支店長、みずほの持株会社の管理部長を歴任。2011年よりバンコク
 支店長として着任。バンコク日本人商工会議所の理事に就任し、タイ政府に対
 する直接交渉も粘り強く行ってきた。金融マーケットに関する解説、タイへの企
 業進出支援等において、多くの企業をサポートしている。タイを中心としたGMS
 (大メコン経済圏)への事業展開についての講演会も数多く行っている。

16:50~17:30 特別講演

「発展しすぎたASEANの中心国タイランド」

【講演者】佐山秀明氏 (FCT CO.,LTD. 代表取締役社長)
 大学在学中より勤務していた広告代理店でテレビCM制作に携わり、1981年
 卒業と同時に同社へ入社後、ものづくりの経験のため1986年に当時の親会社
 へ転職後、1989年6月タイ工場へ赴任。1996年日本の親会社社長の病死に
 より日本側の会社精算とともにタイ工場を分社化、同工場を引き続き経営する
 ことに伴い、現在の社名に変更する。現在は日本向けとタイ向けのディズニース
 センス商品を生産。

17:40~18:20 特別講演

「これからの日本企業進出とタイ・プラス・ワン」

【講演者】福田淳氏 (ARK ENTERPRISE CO.,LTD.、株式会社
 アークビジネスサーチ 取締役)
 タイ・タマサート大学東アジア研究所などを経て、1997年バンコクに日系企業の
 タイ進出及びビジネス開拓をサポートするARK ENTERPRISE CO.,LTD.をタイ
 公認会計士らと設立。2008年東京に東南アジアの投資相談窓口となる株式会
 社アークビジネスサーチを設立。現在、東京とバンコクを拠点として東南アジア
 へのビジネス展開を支援。最近ではタイ、ミャンマーを舞台にした日本企業の海外
 進出展開コラムを現地情報誌に出筆活動中。

18:20~18:50 特別講演

「韓国企業のタイにおける事業活動-人材育成を中心に-」

【講演者】Nam,Chang-Gap 氏 (三星電気タイ法人法人長(常
 務)) (講演:韓国語、通訳あり)
 1986年、三星電気(研究所、電子工学修士)入社、チューン生産2課、デジタル
 衛星通信チームリーダー、WS事業チーム開発1グループ長を経て、2010年常務
 就任、WS開発チーム開発チームリーダー、2011年1月からSEMTHAI生産法人
 法人長。

18:50~19:00 閉会の辞

後藤康浩氏 (AIBS 学会評議員、日本経済新聞社編集委員)

19:00~21:00 懇親会(事前登録必要)

【参加申し込み方法】学会事務局宛電子メールにて、セミナー・懇
 親会・工場見学の参加有無を、**8月5日までに**、お
 知らせください。(ご氏名、ご所属明記)
 宛先電子メールアドレス: aibs@saibs.org

2011年7月から約3カ月に亘り続いたタイの洪水は
 多くの尊い命と多大な損害を社会・経済に及ぼした
 世界銀行推計によると
 東日本大震災、阪神大震災
 ハリケーン・カトリーナに次ぐ
 史上4位の未曾有の被害をもたらした
 あれから2年

タイは復活し経済的にも活況を呈している
 バンコク日本人商工会議所の調査にも
 日系企業の景況感改善がみられ
 世界経済の回復の足取りがおぼつかない中
 タイの経済は力強く洪水被害から回復してきたのである

これはタイのみならず
 ASEAN 各国にも見られる現象であり
 タイ・ASEAN の経済成長を取り込むことは
 日本企業にとっても極めて有効な戦略となる
 ASEAN においては日本企業の競争優位性が
 比較的確保されている市場であるとの認識が強い
 しかし世界各国の競合企業が
 これを狙い虎視眈々、着々と競争の地歩を固めてきている
 今こそ、戦略的な着眼点を持ち
 ASEAN 市場の競争優位性を
 確保すべき時であろう

タイにおける AIBS 学会の初めてのセミナーは
 バンコク・ソフィテルホテルにおいてこれを開催し
 日本企業のタイ・ASEAN 事業戦略再構築について論議する
 セミナー講師には、アジア通貨危機を乗り越え
 タイ・ASEAN における日系企業の金融サポートを担い
 その動向をつぶさに見つめるみずほ銀行から
 執行役員バンコク支店長の高橋則孝氏をお迎えし
 タイを含む大メコン経済圏および
 ASEAN 経済共同体への展望を探っていただきます
 また、現実のビジネスを展開され
 成長するタイ・ASEAN 市場の確保に実績を残す
 FCT 社社長の佐山秀明氏にお越し願ひ
 タイの経済発展の問題についてご解説いただきます
 そして、永年、日系企業のサポートをし
 ご自身18年間をタイで過ごされておられる
 経営コンサルタントの福田淳氏をお迎えし
 これからの日系企業のタイ・ASEAN 進出に際して
 検討すべき「タイ・プラス・ワン」の戦略をお聞きます
 さらに、新興国市場において常に
 日本企業のライバルとして立ちあがる
 韓国・サムスングループの三星電気タイ法人から
 常務・法人長の Nam,Chang-Gap 氏をお迎えし
 タイにおける人材育成の方針をお聞きます
 これからの企業の発展の原動力の一つとして
 また世界経済の動向を占う意味でも重要な
 タイ・ASEAN 地域での企業の行動を
 皆様と共に論議して参ります
 会員・関係各位の積極的なご参加を
 心より期待いたします

【同時企画】工場見学会

セミナーに翌日の8月26日、ロジャーナ工業団地に赴き、
ホンダ、スタンレー電気、タマサート大学
 を見学いたします。ソフィテルホテルロビーに7:20にお
 集まりください。

アジア・国際経営戦略学会

会長 池島政広
 亜細亜大学学長
 前亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科委員長

【学会費ご案内】

個人会員 (正会員/準会員とも) 1万円 (お一人様)
 団体会員 (正会員/準会員とも) 5万円 (お一口)
 学生会員 3千円 (お一人様)

アジア・国際経営戦略学会入会のご案内

【学会の目的】

アジア・国際経営戦略学会は、アジア諸国での企業の国際的な戦略行動に関心を有する、わが国およびアジア各国の研究者、実務家、学生、企業などの団体に対して、アジア・国際経営戦略の諸問題について総合的な研究を促進・啓蒙・普及・教育する事業を行い、アジア・国際ビジネスの発展と公益の増進に寄与することを目的とします。

【事業】

アジア・国際経営戦略学会は、学会の目的を達成するため、次の事業を行います。

- 研究発表会の開催および研究助成等による、アジア・国際経営戦略に関わる学術調査・研究事業
- 講演会・セミナーの開催等によるアジア・国際経営戦略に関わる啓蒙・普及・教育事業
- 研究成果を公表するための雑誌発行とそれに関わる編集事業
- その他、この団体の目的達成に必要な事業

【会員種別】

- (1) 個人正会員 本学会の目的に賛同して入会した個人
- (2) 団体正会員 本学会の目的に賛同して入会した団体
- (3) 個人準会員 本学会の目的に賛同し賛助するため入会した個人
- (4) 団体準会員 本学会の目的に賛同し賛助するため入会した団体
- (5) 学生会員 アジア・国際経営戦略を学ぶ高等教育機関在籍学生個人
- (6) 名誉会員 本学会の目的に賛同し、本学会が推薦する個人

【入会資格】

会員の入会については、特に条件を定めていません。アジア諸国での企業の国際的な戦略行動に関心を有する、わが国およびアジア各国の研究者、実務家、学生、企業などの団体であれば、どなたでも参加できます。

【入会手続き】

電子メールにて学会事務局宛 (aibs@saibs.org) に、学会入会申し込みであることを明記し、ご氏名、ご所属、郵便番号、住所をご連絡ください。ご連絡後、郵便振替口座番号 (00120-5-373167、アジア・国際経営戦略学会) または、ゆうちょ銀行 (金融機関コード 9900) 〇一九店 (ゼロイチキユウ店、店番 019) 当座預金口座 (口座番号 0373167、アジア・国際経営戦略学会) まで所定の会費をお振込みください。手続き完了後、学会定款などをメールにて送信いたします。

【会費】

個人会員 (正会員/準会員とも)	1 万円 (お一人様)
団体会員 (正会員/準会員とも)	5 万円 (お一口)
学生会員	3 千円 (お一人様)

【研究部会】

アジアビジネス研究部会：アジア・中国での日本企業の戦略行動を深く研究し、直面する課題への対応や新たなビジネスモデルの探索を目的とする

アジア生産性人材開発研究部会：アジア・中国地域における環境・資源エネルギー・食糧問題などのマクロな動向を展望し、同地域で事業展開する企業における、生産性の向上とそれを支える人材の育成に関する実践方策の探索を目的とする

ABC/ABM研究部会：企業の長期に渡る維持と発展の基盤となる財務構造を分析し、そのための経営政策を検討する戦略会計領域での重要な分析手法となるABC/ABM (活動基準原価計算/活動基準管理) を用い、アジア・中国地域に展開する日系企業の財務構造を分析する。

コンテンツビジネス研究部会：成長が期待されるコンテンツビジネスの戦略を分析する。この分野の発展には、アジアとの共生、とりわけ日中で連携して中国・世界市場を睨んだコンテンツの開発が必要となる。このビジネスの展開を知的財産、ファイナンス、マーケティング等の側面から検討する。